

2020年4月24日

株式会社電通デジタル

電通デジタル、次世代 BI プラットフォームを提供する Looker 社のパートナー認定取得のお知らせ —顧客のクラウド上で膨大なデータを管理、リアルタイムの最適分析を実施—

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長：川上 宗一 以下、電通デジタル）は、クラウドによる次世代 BI（ビジネス・インテリジェンス）プラットフォーム「Looker（ルッカー）」を提供する Looker Data Sciences, Inc.（本社：米カリフォルニア州 CEO：Frank Bien 以下、Looker 社）の「認定パートナープログラム^{※1}」において、「リセラー」のパートナーに認定されましたので、お知らせします。

近年、企業のデータドリブンへの必要性が高まっている中、膨大かつ複雑と化しているビッグデータの高度な活用が課題となっています。Looker は、自社でデータベースを保持せず、企業の外部クラウドやオンプレミスのデータベースへ接続することで、リアルタイムでのデータ可視化や高度な分析、ウェブ上での共有ができ、迅速かつ確実な意思決定を実現しています。また、独自のモデリング言語である「LookML（ルックエムエル）」で指標の定義を行うことにより、自動的に SQL（Structured Query Language）を生成しデータを取得します。LookML であらかじめ定義された指標を利用することで、データの一貫性を担保できるという特長があります。また、Looker 社は2020年2月に Google Cloud の傘下になり注目が高まっています。

この度の認定で、電通デジタルはクライアントへ Looker の再販、導入・実装・定着を担うパートナーとなりました。これにより、Looker を使ったシームレスな統合データ基盤構築と、よりリアルタイムなデータドリブンマーケティングを実践するための最適な分析環境の提供が可能になりました。

電通デジタルでは、これまでも様々なデータの集積と統合、および可視化によるデータ活用に向けたプラットフォームの提供を行っており、Google の「Google アナリティクス 360」と「Google Cloud Platform^{※2}」のパートナー認定を取得しています。この度の認定を通じ、これまで以上に柔軟かつ短期間でデータの統合化を実現するとともに、企業の保有するデータの価値を引き出す為のより良いデータマネジメント環境の確立に貢献いたします。

電通デジタルは、Looker 社とソリューション間の連携を深め、高水準なデータ活用と付加価値のあるサービス提供を行い、企業のマーケティング活動を支援してまいります。

※1: 認定パートナープログラムとは

Looker 社の認定パートナープログラムは、Looker Developer と Advanced Looker Developer の両方のコースを修了し、Looker の開発を行うことのできる専門知識とスキルを証明することのできる認定資格です。

※2: 2018年6月14日「電通デジタル、Google Cloud Platform サービスパートナー認定を取得 ー広告からクラウドまで Google ソリューションをワンストップで提供可能にー」発表資料

<https://www.dentsudigital.co.jp/release/2018/0614-000144/>

※Google Cloud Platform は Google LLC の登録商標です。その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

竜野・横田 TEL : 03-6217-6036

Email : press@dentsudigital.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル データマネジメント事業部

岡田 TEL : 03-6217-7010

Email : sol_dmd@dentsudigital.co.jp